

年頭のあいさつ

代表理事組合長 中條秀二

組合員・利用者の皆さまにおかれましては、令和4年の新春をつつがなくお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、令和3年は、緊急事態宣言の発令がなされるなど新型コロナウイルス対策に追われた一年となりましたが、ワクチン接種の進捗に伴い感染者数が減少し宣言の解除がなされました。その結果、社会経済活動の規制が緩和され経済回復の明るい兆しが見られるようになりました。

一方、世界経済も回復傾向にあります。半導体不足による自動車等の減産や原油の需要急増による価格の高騰など懸念材料が浮上しています。農業面でも資材価格の高騰や重油価格の値上がりから、生産コスト増加による農業経営への圧迫が見られます。今後も動向を注視し、政府・与党に価格支援等の実施を求めてまいります。

また、本年は第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会が霧島市牧園町で開催されます。あいら地域全共出品対策協議会が機会をとらえた集合研修会や毎月の巡回指導を実施するなど出品に向けた対策を講じています。さらに、第75回全国茶品評会において、霧島市の生産者が農林水産大臣賞を受賞されました。いずれも関係機関が一体となった成果であります。

次に、長年の懸案事項でありました本所建設は、昨年11月に起工式を行い建設着工しました。本年8月には完成の予定です。新本所を人材開発の拠点としながら「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に努めて参ります。

さらに、本年は、新しい中期3か年計画の初年度となります。JAあいらは「変えるべきは変える、変わるべきは、自ら変わる」とする自己改革の実践を継続します。そして、「霧島市・始良市・湧水町との連携」や「商工会議所・商工会との事業連携」による地域活性化の取り組みを実施して参ります。

なお、経営環境が厳しさを増すなかで、JAは地域農業を支える「持続可能な収益性と健全性の確保」が強く求められています。JAあいらでも、第29回総代会で決定した支店・支所や購買店舗の再編が実施されます。皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、令和4年が皆様にとって幸多い年となられますことをご祈念申し上げます。年頭に当たってのごあいさつといたします。